

かなえ

第139号(令和6年5月)

医療法人社団鼎会 三和病院

松戸市日暮7-379 ☎047-712-0202

<https://sanwa-hp.jp/>



医療法人社団鼎会 八柱三和クリニック

松戸市日暮1-16-2 ☎047-312-8830

<https://sanwa-cl.jp/>



房総竹岡漁港

自分の好きな漁港が房総半島南部の金谷港近くの竹岡にあります。

この港は漁船を浜に上げたり浜沿いに多数見られます。

この海岸を陸から見る構図が面白く、

美術展用に出す大きな作品などでも多く描いています。

この漁港の奥に大きな山が海に突き出しています。

戦時中には砲台が置かれ砲台山と呼ばれており

東京湾から首都圏に向かう爆撃機隊を迎撃していたそうです。

この辺りは独自のラーメンが有名だそうです。

こちらに来ると漁協直営の新鮮なアジフライをいつも頂き、

満足しております。

安くてボリュームも満点です。 絵、文 菅谷 功 2024年5月



竹岡漁港(房総)
Kaw. sugaya



100人に一人

内 科 安達 佳宏

外来診療日 三和病院:水曜AM

はじめまして。今年2月より内科の常勤医として三和病院に赴任した安達佳宏です。

私は昭和37年に新宿駅に近い渋谷区で生まれ育った61歳です。子供の頃は都会育ちのもやしっ子(笑)で自家中毒(ケトン血性嘔吐症)や喉の溶連菌感染症で病院通いが頻繁でした。自家中毒とは身体にケトン体という酸性物質が溜ってしまい嘔吐を繰り返す病気です。吐き気で病院に行ったら先生がカルテにケトン体陽性と書いたら自家中毒でブドウ糖入りの点滴が必要、扁桃腺が腫れた時は溶連菌感染でお尻に痛いペニシリン注射という内科診断学を8歳にして身につけた私が将来医師になることは必然のことでした。病弱だった私は小学3年生の時に、千葉の岩井にあった渋谷区立の富山健康学園で1年間の寮生活を過ごしました。朝は身体の乾布摩擦に始まり海岸沿いの松林のランニング・海を眺めての腹式呼吸の練習をして普通の授業を受ける生活を送って、すっかり健康な身体に戻りました。当時、岩井では夜になると川に蛍が飛び、黄色い菜の花や緑色の松林・青い海が印象的でした。千葉を第二の故郷と思って過ごした私は千葉大学学医学部に進み、1988年に医師となりました。千葉大では準硬式野球部で野球に明け暮れました。そして今から40年前に野球部のOBとして出会ったのが、現・三和病院の特別顧問である高林克日

己先生でした。大学卒業後は高林先生の弟子としてリウマチ・膠原病の研鑽を積みました。研修医が終わって30歳の時に、「医者を辞める宣言」をして、免疫学の基礎研究に従事しました。ノーベル賞を目指して(?)アメリカに2年間留学したものの何の業績も残せず、今後どうやって生きていこうかと悩んだ時に、当時、松戸市立福祉医療センター・東松戸病院に内科部長でいらした高林先生に誘っていただき、2001年から今年1月まで23年間で東松戸病院で勤務しました。同院では、入院患者は高齢者全般・亜急性期患者のリハビリ・褥瘡治療・栄養サポートチームなどに関わるとともに、緩和ケア病棟で看取りも含めた末期癌患者の緩和ケアにも取り組んできました。一方、外来では糖尿病・甲状腺の病気・リウマチ膠原病などで一時は450名を超える患者を診てきました。東松戸病院では一人の患者を20年以上にも渡り長く診てあげることの大切さを痛感しました。しかし、残念ながら今年3月をもって同院が閉院となりました。そして、今回もまた高林先生からのお誘いがあり三和病院で勤務することになりました。高林先生は私の人生の転機に必ず登場してくれているので先生には足を向けて眠れません。もう一つ三和病院に来た理由はどの先生方も非常に仕事熱心で尊敬に値する先生ばかりだからです。

話は変わって、一人の患者さんを長く診ることには反対に、私は初診での飛び込み患者さんや救急車でやってくる新患患者さんを診るのが大好きです。飛び込み患者さんの多くは、風邪か訴えのはっきりしないいわゆる不定愁訴(ふていしゅうそ)の患者がほとんどです。風邪とは「治療しなくても自然経過で良くなってしまう上気道の炎症性疾患」ですから、極端な話内服薬も医師の診察も不要ともいえる病気です。しかしながら、風邪や不定愁訴で病院に来院した患者さんの「100人に1人」くらいは他の重要な病気が見つかることがあります。この、「100人に1人」を的確に見つけ出せるかどうかが本当の医師

の実力だと信じています。そのためには、症状・経過・想定できる病気・鑑別疾患(比較し除外する病気)・検査結果から正しい疾患を見つけ出す、いわゆる臨牀推論という思考過程を常に磨いておくことが医師としての重要な資質だと思っています。風邪患者ばかり診ることは多くの医師にとってあまり面白くないのですが、「100人に1人」を見逃さないように、これからも研鑽を積んで行きたいと思っています。まだ、外来患者数も少ないですが、今後、少しずつ患者さんとの接点も増えていくと思うのでよろしくお願いたします。

～手術室看護師 便り～



これから手術を受ける方も受けない方も「今日からはじめる スキンケア」

手術を受ける場合は特に、創を保護するテープや点滴を固定するテープなど多くの種類の医療用テープを直接皮膚に使用することになるため、皮膚が弱くなっていると、皮膚トラブルにつながる原因になると言われています。

これらを防ぐためには、「皮膚のバリア機能」が重要になります。「バリア機能」とは、『外部からのアレルゲンや微生物などの侵入や、水分が外に逃げないように体内を守る皮膚の働き』のことです。バリア機能を維持するためには、皮脂膜、角層細胞膜間脂質(セラミドなど)、天然保湿因子(NMF)といった成分が必要です。

そのために行うのが、毎日のスキンケア(3つの保)になります。

保清＝1日1回 入浴(シャワー浴)皮膚の清潔を保つため優しく洗う。

保湿＝入浴(シャワー浴)後、必ず保湿剤を塗る(特に乾燥しやすい場所)

保護＝皮膚を守るための工夫。肌着や衣服の繊維・ゴムによる締め付け・寝具や寝衣の洗濯・湿布などの剥がし方・爪を切る・皮膚を掻かないなど。

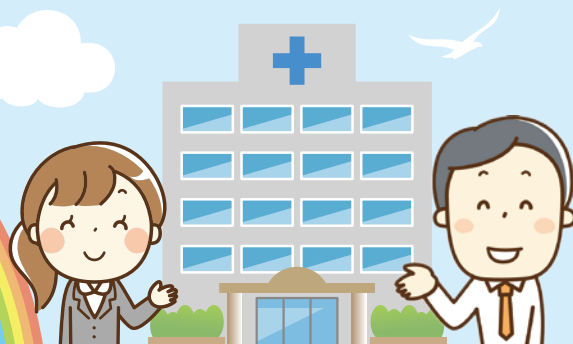


それ以外に、栄養・水分不足にならないよう食生活も重要なポイントになります。体調が優れず、入浴(シャワー浴)ができない場合は温かいタオルで優しく体を拭くだけでも大丈夫です。適度に絞ったタオルを電子レンジでチンするだけで簡単にできます。

皮膚トラブルを防ぎ、生活(療養)が少しでも快適に過ごせるよう、今日からはじめてみませんか。

オペ室

鼎会からの お知らせ



休診のお知らせ

三和病院

5月17日(金)午後	乳腺外科	渡辺 修 医師
5月21日(火)	乳腺外科	渡辺 修 医師
5月25日(土)	整形外科	寺川 文英 医師 (代診 鍋島欣志郎医師)
5月29日(水)	消化器外科	宇田川 勝 医師
5月29日(水)	内科	高林克己日 医師
6月13日(木)	内科	井田 友明 医師
6月14日(金)午後	乳腺外科	渡辺 修 医師
6月18日(火)	乳腺外科	渡辺 修 医師
6月21日(金)	皮膚科	川添 貴弘 医師

八柱三和クリニック

5月8日(水)	内科	神崎 哲人 医師
5月23日(木)	内科	橋場 良 医師
6月12日(水)午前	内科	神崎 哲人 医師
6月22日(土)	内科	李 鍾碩 医師



医療法人社団鼎会への寄付金のご協力をお願いしております

医療法人社団鼎会基金へのご協力ありがとうございました

多数の方々よりご協力をいただきました基金の募集は一旦終了とさせていただきます。皆様のご協力ご支援に深く感謝申し上げ、心より御礼申し上げます。ご協力いただきました基金につきましては引き続き大切に運用させていただきます。

三和病院開設以来、皆様のご理解とご協力の下、地域に根差した医療活動を運営してまいりました。新しい医療機器の購入や室料差額無料など、より良い医療の提供や患者様の負担を軽減する運用を継続していくために一層の努力を重ねてまいります。



寄付金につきましては引き続きご協力をお願いしております。

詳細につきましては下記にお問い合わせください。

医療法人社団鼎会総務課 TEL047-712-0202

三和病院・八柱駅間

シャトルバス運行予定表

八柱駅発				三和病院発		
8時	30	50		40		
9時	10	30	50	00	20	40
10時	30	50		20	40	
11時	10	30	50	00	20	40
12時	30	50		20	40	
13時	10	30		00	20	50※
昼休み				※土曜日のみ運行 土曜の最終便		
14時	20	40		10	30	50
15時	00	20	40	10	30	
16時	20	40		10	30	50
17時	00	20		10	30	45※



※この便は状況に応じて増便いたします。
※交通状況等によって時間通りに運行できないことがあります。
※日曜・祝日・年末年始(12/30~1/3)は運行していません。
※定められたバス停などはございません。
※八柱駅の交番前を目安に発着しております。
※八柱駅前のロータリーの駐車状況によっては、交番前に停車できない場合がございます。
その際は、ロータリー内の可能なスペースに停車致しますので、ご了承下さいませ。